

明治ホールディングス株式会社

2026 年 2 月 17 日

報道関係者各位

環境省 第 7 回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」 環境サステナブル企業部門 銀賞（環境大臣賞）受賞

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：松田 克也）は、環境省が主催する第 7 回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門において、銀賞（環境大臣賞）を 2 年連続で受賞しました。

「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」は、環境省が 2019 年に創設した表彰制度です。ESG 金融や環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家や企業の先進的な活動を表彰し、広く社会で共有することで、ESG 金融の普及・拡大につなげることを目的としています。

その中でも、環境サステナブル企業部門は「環境関連の重要な機会とリスク」を「企業価値」向上に向けて経営戦略に取り込み、環境へのポジティブインパクトを生み出している企業の具体的な実例を、投資家や企業に示すために表彰する部門です。



■環境サステナブル企業部門 銀賞（環境大臣賞） 受賞理由

今般の受賞は、明治グループにおける自然資本への依存・影響が大きい事業特性を踏まえ、ネット・ゼロ^{※1}、ネイチャーポジティブ^{※2}、サーキュラーエコノミー^{※3}への統合的な取り組みが高く評価されました。また、重要な原材料の一つであるカカオ生産の持続可能

性向上と、社会課題解決とを両立させるなどの模範的な取り組みが進展しており、ROE と ESG を組み合わせた挑戦的な経営指標も特徴的であるとされています。今後は、生乳など他の主要事業でもサステナビリティと経済価値のトレードオンを実現する取り組みのさらなる展開が期待されています。

※1 温室効果ガスが排出される量と吸収・固定される量の差し引きがゼロになること

※2 自然再興。自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め反転させること

※3 循環経済。廃棄物を出さずに資源をまわして経済も環境も豊かにする仕組み

■明治グループのサステナビリティと事業の融合

明治グループは、2026 中期経営計画においてサステナビリティと事業の融合を中核的な取り組みと位置づけ、ROE と ESG を組み合わせた独自の経営指標「明治 ROESG®」※4のもとで経営を推進しています。価値創造プロセスに基づき、特定したマテリアリティ（重要課題）ごとに、取り組みと KPI（重要業績評価指標）を設定し、事業活動全体に反映しています。また、カカオについては、「メイジ・カカオ・サポート」による持続可能な調達と産地との良好な関係構築を進めるとともに、「ひらけ、カカオ。」を通じたカカオの価値拡大に取り組んでいます。

明治グループは、今後も引き続き社会課題の解決と企業価値の向上を両立させながら、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

※4 「ROESG」は一橋大学教授・伊藤邦夫氏が開発した経営指標で、同氏の商標です

<参考>

- ・明治グループ 2026 中期経営計画 明治 ROESG®経営の進化

<https://www.meiji.com/investor/vision/mid-term-plan/>

- ・明治グループ 価値創造プロセス

<https://www.meiji.com/corporate/valuecreation.html>

- ・メイジ・カカオ・サポート

<https://www.meiji.com/sustainability/cocoa/>

- ・ひらけ、カカオ。

<https://www.meiji.co.jp/sustainability/newaction/cacao/>

以上

MOOOOOOORE SUSTAINABILITY は
人・社会・地球の健康の実現に向けた
明治グループのサステナビリティ活動
精神を表しています。

サステナビリティページはこちら↓
<https://www.meiji.com/sustainability/>

MOOOOOOORE
SUSTA/NAB/LITY